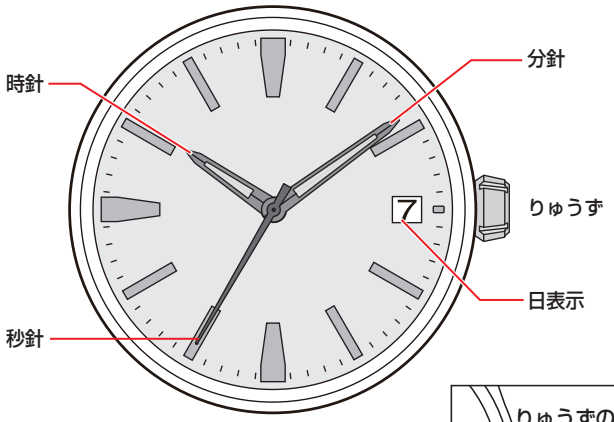
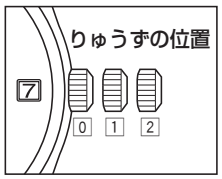
• 仕様 / 操作の詳細は、Webマニュアルをご参照ください。 https://citizen.jp/support/guide/html/0950/0950.html

各部の名称





• お買い上げいただいた時計は、イラストと異なる場合があります。
• りゅうずの引き出し位置は2段階あります。

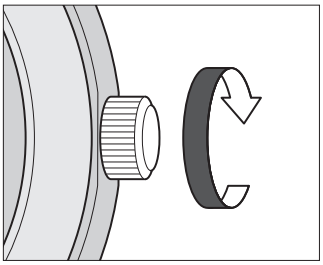
ぜんまいを巻き上げる

この時計は、ぜんまいを原動力とする機械式自動巻時計です。
時計を腕に着けていると、腕の動きによって、時計内部の回転錘(おもり)が動き、ぜんまいが自動で巻き上げられます。
• 腕の動きが少ないと、ぜんまいが十分に巻き上げられません。時計をできるだけ長時間腕に着けていただくか、時計を着ける前に手動でぜんまいを巻き上げることをおすすめします。

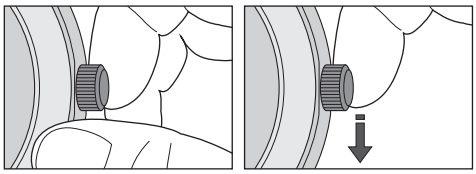
ぜんまいを手で巻き上げる

1 りゅうずの位置を0にする

2 りゅうずを親指と人差し指でつまんで、右にゆっくり回す



• りゅうずの下側を指の腹で下方向にこするようにしても、りゅうずを回すことができます。



• 時計が止まった状態から、りゅうずを約42回転させると、ぜんまいが充分に巻き上げられた状態になります。
• ぜんまいが充分に巻き上げられると、時計は約50時間動きます。
• ぜんまいが充分に巻き上げられた状態からさらにりゅうずを回しても、ぜんまいが切れる心配はありません。

時刻・カレンダーを合わせる

時刻を合わせる

1 秒針が0秒を指しているとき、りゅうずの位置を2にする
秒針が止まります。

2 りゅうずを回して時刻を合わせる
• 時針、分針が連動して動きます。
• 時刻を進めると、カレンダーも連動します。カレンダーが切り替わったときが、午前0時です。午前/午後の違いに注意します。

3 時報に合わせて、りゅうずの位置を0にして終了する

カレンダーを合わせる

• 時計のカレンダーは31日制です。3月、5月、7月、10月、12月の各1日には、カレンダー合わせが必要です。
• 時計の表示時刻によっては、カレンダー合わせを行うと、カレンダーが正しく切り替わらない場合があります。
時計が、午後8時～午前4時30分を表示している場合は、カレンダー合わせを避けてください。

1 りゅうずの位置を1にする

2 りゅうずを右に回し、日表示を合わせる

3 りゅうずの位置を0にして終了する

機械式時計について

機械式時計の精度は、次の使用条件などに影響を受けます。

ぜんまいの巻き上げ量	機械式時計は、ぜんまいが充分に巻き上げられた状態で、最も安定した精度を維持することができます。
姿勢	機械式時計の精度は、重力の影響を受けて変化します。身につけているとき、時計はさまざまな姿勢(向き)になるため、重力の向きが刻々と変わり、精度に差が生じます。
温度	機械式時計は、精度を制御する部分に金属部品が使われているため、温度変化による金属の膨張収縮やばねとしての性質の変化の影響を受けて精度に差が生じます。
磁気	機械式時計は、金属の部品を使用しているため、磁力の影響を受け、精度に差が生じます。時計の精度を保つためには、強い磁気が発生するものに近づけないようにしてください。
衝撃など	強い衝撃や連続した振動を受けた場合も精度に差が生じます。